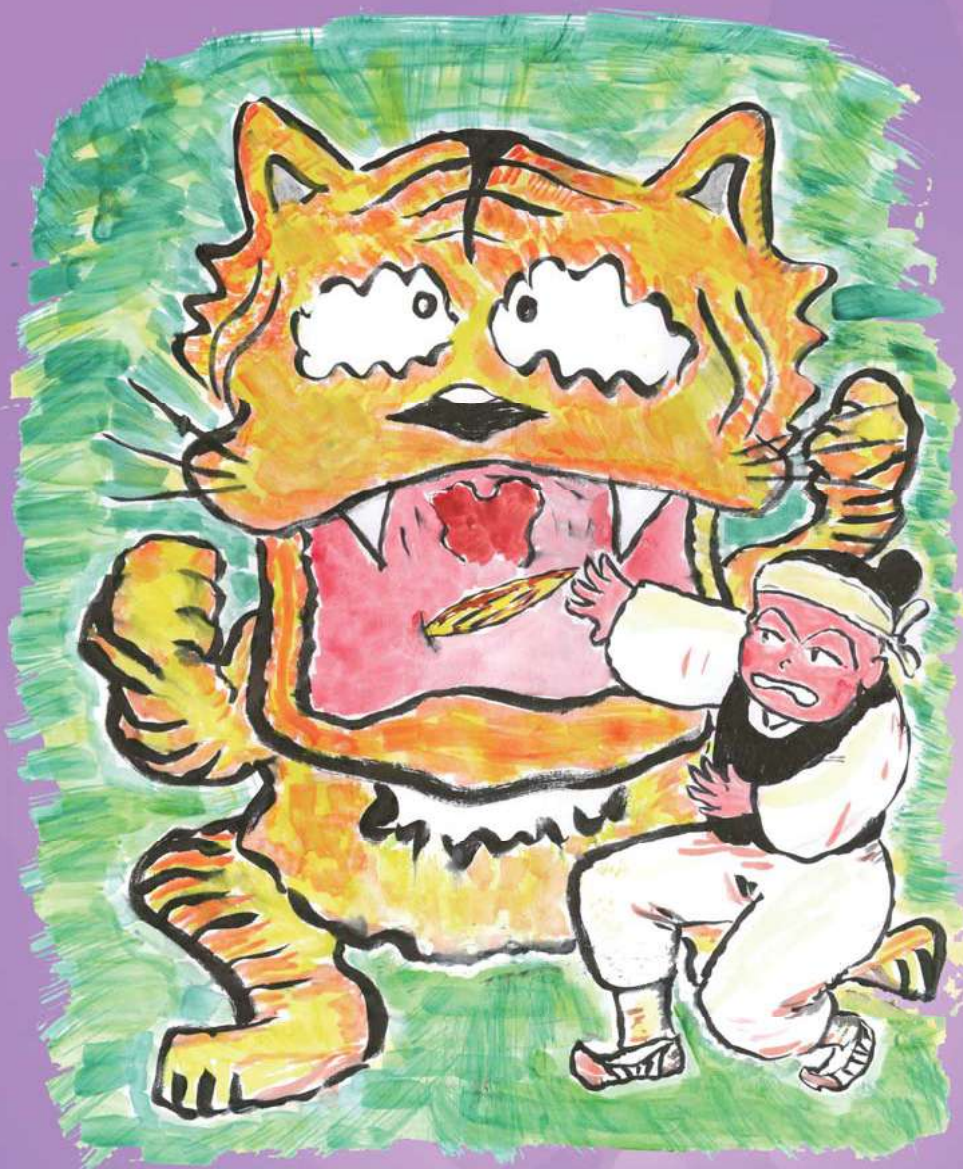


「金剛山のトラたいじ他」に次ぐ韓国・朝鮮の民話から第2弾!  
(30年のロングラン作品)  
厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財



エンディングは韓国・朝鮮の大道芸をお楽しみ下さい。

# トラの恩がえしおん

オペレッタ

韓国・朝鮮の民話より

## うた・ふれあい・ゆめ・愛・ よろこび・希望

今日を生き、次代を担う子どもたちにこそ、人類のもてる最良のものを提供する責務を、私たちは負っています。

最良のものを通して、豊かに生きる力をつちかうことが、また私たちの希望でもあります。

オペレッタ劇団ともしびは、

第1に、人とひとの心をかよわす上での、音楽がもつ特有の力と魅力を大切にします。

第2に、困難で生きにくい時代にあっても、苦しさをユーモアと風刺によって、庶民の生きる力に変えてしまう、「笑い」を追求していきます。

本来、オペレッタは庶民の風刺とユーモアが生命線であり、それは、無機質な人間関係をあたたかなものに変える力があります。

舞台の上での俳優の共同と、観客との呼吸しあいながらの共同を通して、競争原理がまかり通る今日の社会に、ともに生きあうことのよろこびとその大切さを共有できることを、ともしびはめざしてきました。

おらかな人間関係、人間社会、それがオペレッタ劇団ともしびの願いです。

### これまでの受賞など

「ともしびバラエティ劇場」

平成3年度厚生省中央児童福祉審議会推薦文化財

「金剛山のトラたいじ他」

平成6年度厚生省中央児童福祉審議会特別推薦文化財

1995年、1997年「ソウル児童演劇祭招聘公演」作品

2000年韓国「益山国際児童青少年舞台芸術フェス招聘公演」作品

2002年ソウル国際児童青少年舞台フェス招聘公演

平成14年度文化庁国際芸術交流支援事業(アシテジ世界大会)公演等

「シンプルプレイで2つの寓話劇ーうぬぼれうさぎと三びきのこぶた」

平成14年度厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財

文化庁支援事業 2009年ラオス、カンボジア、ベトナム公演(三びきのこぶた)

●お申し込み、お問い合わせは 月～金10時～18時 土曜10時～17時

### オペレッタ劇団ともしび

〒171-0033 東京都豊島区高田1-12-17

TEL 03-6907-2731 FAX 03-6907-3812

<http://www.tomoshibi.co.jp>

Email [info@tomoshibi.co.jp](mailto:info@tomoshibi.co.jp)



これまでの主な作品

べっかんこ鬼



お月さんももいろ



ねこのいえ



いのちのバトン



シンプルプレイで2つの寓話劇



金剛山のトラたいじ他



オペレッタ劇団ともしび

日本児童・青少年演劇劇団協同組合 加盟  
国際児童青少年舞台芸術協会(アシテジ)日本センター 加盟



民族楽器の生演奏の  
たのしさが、うたごえが  
会場いっぱいにあふれます。



原作:韓国・朝鮮の民話から  
音楽:韓国・朝鮮の伝統音楽ほか  
脚本・演出:韓国・朝鮮と日本チーム  
美術:内山勉、新井真紀  
出演者による集団創作(デバイジング)



昨日までの体育館が今日は劇場に大変身!

劇団が舞台と客席を設営します。体育館の広いフロアで身近にダイナミックに演じます。



エンディングは、韓国・朝鮮の大道芸

チャング、ブク、ケンガリなどの演奏にあわせての大サンモ。コミカルで楽しくダイナミックなボナ回し。思わず、歓声と拍手が…。



韓国で、購入した楽器などの数々



チャング



カヤグム



ナバル ケンガリ など



制作にあたって

オペレッタ劇団ともしびが「金剛山のトラたいじ他」に続きお送りする、韓国・朝鮮の昔話第2弾「トラの恩がえし」は、広く語りつがれているお話です。

トラと人間が互いに殺し合っている時代に、トラと人間の「友情」が生まれました。たがいに相手を知ろうとしない、無視する、さらに憎み合うという話は、昔話どころか、私たちの身の回りでも日々起こっていることではないでしょうか。いな蔓延しつつあります。

心寒くなるような事件が多発する昨今、人々の平和と安寧を願わない日はありません。優しさ、相手に対する思いやりは憎しみを超えて互いの人格を尊ぶ心を育てます。芸術作品は子どもたちの心を育てます。

「トラの恩がえし」あらすじ

昔むかし、朝鮮半島にはトラがたくさんおりました。人間はトラの皮を宝物として珍重し、一方トラは、人間を喰うので、お互いに怖れあい、憎み合っていました。

山奥で母親と二人で暮らす、若い木こりが、ある日、痛みで苦しんでいるトラに出くわし、助けてやります。

思いがけず助けられたトラは、怪我がなおると木こりへの恩がえしを始めるのでした。しかし最後の恩がえしは…

韓国・朝鮮の大道芸

韓国・朝鮮の農村では、旅芸人によって伝統的な踊り、芝居、演奏、パンソリ、曲芸などが村の広場(マダン)で行われていました。集団は芸能の宝庫であり、村人は厳しい農作業を休み、ともなうたい、わらい、踊りあって一日を過ごしました。

「トラの恩がえし」公演では、大道芸でフィナーレを飾ります。

上演時間:75分(休憩なし) 編成:7名 暗幕不要

子どもたち一人ひとりの「生きる力」から人と人との「生きあう力」へ  
思いやりと優しさが心の垣根を取り除く  
思いやりと優しさが新しい世界を開く